

産業建設委員会

令和 7 年 9 月 11 日 (木)
10 時 00 分 ～ 時 分
全 員 協 議 会 室

【委 員】川上委員長、田畑副委員長、

村木委員、大谷委員、小川委員、佐々木委員、牛尾委員

【議長・委員外議員】

【執行部】砂川副市長

(産業経済部) 佐々木産業経済部長、久佐産業経済部参事、大屋商工労働課長、
坂田浜田駅周辺活性化推進室長、佐々木ふるさと寄附推進室長、
佐々木農林振興課長、永見水産振興課長、大驛観光交流課副参事

(都市建設部) 倉本都市建設部長、松井建設企画課長、渡邊建設整備課長、
皆尾維持管理課長

(金 城 支 所) 市原金城支所長、河内産業建設課長

(旭 支 所) 西川旭支所長、官澤産業建設課長

(弥 栄 支 所) 三浦産業建設課長

(三 隅 支 所) 石原産業建設課長

【事務局】小寺書記

議題

- 1 議案第 60 号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について
- 2 議案第 61 号 浜田市国民宿舍千畳苑条例を廃止する条例について
- 3 議案第 62 号 浜田市美又温泉美肌観光拠点施設条例の制定について
- 4 議案第 66 号 財産の処分について (浜田市国民宿舍千畳苑)
- 5 議案第 69 号 工事請負契約の変更について (市道日脚治和線 (周布橋) 橋梁床版工事)
- 6 議案第 70 号 市道路線の廃止について (浜田 492 号線)
- 7 所管事務調査
 - (1) はまだお魚市場の運営状況について 【水産振興課】
 - (2) 令和 7 年度に開催する市民参加型イベントの詳細について 【該当課】
- 8 執行部報告事項
 - (1) 浜田駅周辺活性化社会実験について 【浜田駅周辺活性化推進室】
 - (2) 令和 6 年度ふるさと寄附のランキングについて 【ふるさと寄附推進室】
 - (3) はまだお米クーポン券の利用状況等について 【農林振興課】
 - (4) 令和 7 年 8 月 7 日からの豪雨による被害状況について 【農林振興課・維持管理課】
 - (5) 浜田市立地適正化計画の策定について 【建設企画課】
 - (6) リフレパーク きんたの里浴槽系統制御盤の修繕について

【金城支所産業建設課】

(7) 旭温泉水有効活用起業支援事業補助金に係る賠償請求事件の第一審判決について

【旭支所産業建設課】

(8) その他

(配布物)

・漁業別水揚げについて

【水産振興課】

9 取組課題のまとめについて（委員間で協議）

10 その他

(1) 委員会活動レポート（Vol. 79）の原稿について

令和7年9月浜田市議会定例会議 条例議案新旧対照表

（産業建設委員会）

新 旧 対 照 表 の 見 方

1 最上部に一部改正する条例の名称及び条例番号を表記しています。

2 新旧対照表の表記は、次のとおりです。

- (1) 左欄の「現行」が改正前、右欄の「改正後（案）」が改正後の内容
- (2) 改正のある条のみ表記
- (3) 改正のある条の中の改正のない項及び号は「〔略〕」で表記
- (4) 変更のある箇所を下線で表記

〔新旧対照表例〕

浜田市●●●条例（平成●●年浜田市条例第●●号）新旧対照表 （下線部分が改正箇所）

現行	改正後（案）
（見出し） 第●条 市長は、○○○○○○○○、 <u>●●●●</u> とする。 2 〔略〕	（見出し） 第●条 市長は、○○○○○○○○、 <u>▲▲▲▲</u> とする。 2 〔略〕

目 次

議案第60号 浜田市火入れに関する条例の一部を改正する条例について	…	1ページ
-----------------------------------	---	------

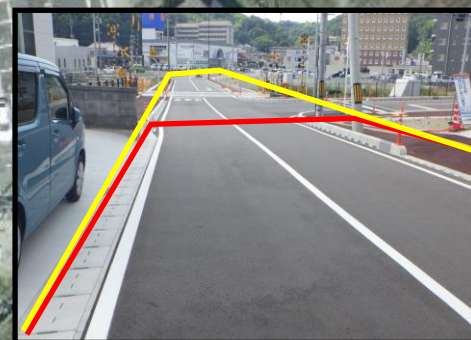
現行	改正後（案）
（火入れ責任者の義務） 第9条　〔略〕 2　〔略〕 3　火入れ責任者は、次条に定める防火設備及び第11条に定める火入れ従事者の配置が適正になされ、かつ、現地の気象状況に異常が認められないことを確認した後でなければ火入れをしてはならない。 （火入れの中止） <u>第13条　火入れ者及び火入れ責任者は、火入れの許可の期間中であっても、強風注意報、異常乾燥注意報又は火災警報が発令されたときには、速やかに消火しなければならない。</u> <u>2　火入れ責任者は、火入れ中に風勢等によって他に延焼するおそれがあると認められるとき、又は強風注意報、異常乾燥注意報又は火災警報が発令されたときには、速やかに消火しなければならない。</u>	（火入れ責任者の義務） 第9条　〔略〕 2　〔略〕 3　火入れ責任者は、次条に定める防火帯及び第11条に定める火入れ従事者の配置が適正になされ、かつ、現地の気象状況に異常が認められないことを確認した後でなければ火入れをしてはならない。 （火入れの中止） <u>第13条　火入れ者及び火入れ責任者は、火入れの許可の期間中であっても、強風注意報若しくは乾燥注意報が発表されたとき、又は火災に関する警報が発令されたときは、火入れを行ってはならない。</u> <u>2　火入れ責任者は、火入れ中に風勢等によって他に延焼するおそれがあると認められるとき、強風注意報若しくは乾燥注意報が発表されたとき、又は火災に関する警報が発令されたときは、速やかに消火しなければならない。</u>

令和 7 年 9 月 11 日

産業建設委員会資料

都市建設部維持管理課

浜田 492 号線
延長 69.6m
幅員 8.9m~9.0m



— 浜田 492 号線 (廃止路線)

— 浜田 555 号線 (令和 6 年 12 月認定)

はまだお魚市場の運営状況について

- 1 指定管理者 株式会社第一ビルサービス（広島県広島市中区大手町 5-3-12）
2 指 定期間 令和 6 年 4 月 1 日から令和 11 年 3 月 31 日まで（指定管理 2 期目）
3 利用実績 (単位：人)

項目	R4 実績	R5 実績	R6 実績	前年度対比 (R6/R5)
入込客数	170,509	178,696	166,145	93.0%
商業棟 1 階	104,615	110,700	105,968	95.7%
商業棟 2 階	65,894	67,996	60,177	88.5%
平 平日	365	439	380	86.6%
均 土日祝	827	776	753	97.0%

4 事業収支

【収入】

(単位：円)

項目	R4 実績	R5 実績	R6 実績	前年度対比 (R6/R5)
商業棟 1 階営業収入	86,960,369	93,059,974	96,989,758	104.2%
利用料金収入	14,318,183	15,514,913	15,458,184	99.6%
雑収入	723,119	68,624	0	0.0%
手数料収入	964,896	1,203,491	1,201,382	99.8%
光熱費高騰対策支援	2,732,000	0	0	-
収入計(A)	105,698,567	109,847,002	113,649,324	103.5%

【支出】

(単位：円)

項目	R4 実績	R5 実績	R6 実績	前年度対比 (R6/R5)
人件費	20,970,066	22,634,020	21,220,622	93.8%
管理費	88,720,278	85,989,982	91,317,891	106.2%
支出計(B)	109,690,344	108,624,002	112,538,513	103.6%

収支差引(A-B)	△3,991,777	1,223,000	1,110,811	90.8%
-----------	------------	-----------	-----------	-------

5 運営状況総括

令和 3 年度及び令和 4 年度の収支は赤字であったが、収支改善に取り組み令和 5 年度以降は黒字転換している。特に商業棟 1 階の営業収入については、バス観光客の誘致活動、特売販売の定期開催、Instagram での情報発信を積極的に行う中で着実に増加しており、今後も施設の安定した運営が期待される。

令和7年度に開催する市民参加型イベントの詳細について

地域	名称	主催	開催日時	開催回数	会場	イベントの内容	市民参加の有無	来場者数 (又は見込み)
浜田	BUY浜田屋市	ベルガロッソいわみ	6月1日	1回	サンビレッジ浜田	市内業者による地元農産物・飲食物の販売	有	1,284人
浜田	BUY浜田屋市	浜田市「BUY浜田運動」推進委員会	10月5日	1回	三桜酒造跡地	市内業者による地元農産物・飲食物の販売	有	未開催
浜田	浜田駅周辺活性化社会実験	浜田駅周辺活性化社会実験実行委員会	9/14-10/5	5回	三桜酒造跡地ほか	まちなか夜神楽、石州酒まつり、ホビーマルシェ、BUY浜田屋市など。	有	1,000人
浜田	浜田港港湾区域内一斉清掃	浜田港清港会（浜田港振興会）	7月8日		浜田港構内	浜田港構内の一斉清掃を行い、港内の清潔を確保し、あわせて構内関係者の環境意識の高揚を図る。	有	382人
浜田	浜田を元気にするアイデアコンテスト MAKE DREAM2025	はまだ産業振興機構	12月19日 ※最終審査	1回	島根県立大学 浜田キャンパス	浜田で生活する島根県立大学の学生が、地域への活用を想定した独自の事業プランを提案する。	有	140人
浜田	島根イタリー	浜田漁港周辺エリア活性化イベント実行委員会、島根イタリー実行委員会	5月25日	1回	はまだお魚市場	島根県内の有名イタリアンシェフ7名が集まり、本格イタリアンを提供。ドリンクや野菜、スイーツ等を販売。	有	約800人
浜田	山陰浜田港どんちっちアジ祭り	山陰浜田港どんちっちアジ祭り実行委員会	6月7日	1回	はまだお魚市場	浜田のブランド魚である「どんちっちアジ」の姿炭火焼きや混ぜご飯、各種アジ料理を提供。	有	約1,500人
浜田	BB大鍋フェスティバル	BB大鍋フェスティバル実行委員会	10月25日	1回	はまだお魚市場	北前船を模った模型の中に直径2mの大鍋を設置し、約5,000食の鍋料理を提供。ステージイベント等有り。	有	約10,000人
浜田	石州浜っ子春まつり	浜っ子まつり振興会	4月29日	1回	各商店街沿線	パレード、大名行列、市民の楽市	有	3,000人
浜田	石州浜っ子夏まつり	浜っ子まつり振興会	8月9日	1回	浜田漁港周辺	花火大会のほか、市民の店や屋台の出店がある。令和7年度は新市誕生20周年記念納涼夏踊りと同時開催。	有	10,000人
浜田	浜田の夜神楽週末公演	浜田市観光協会	毎週土曜日 9~11月は金曜日も開催	60回	三宮神社	石見神楽定期公演	有	各回約50人
浜田	日本石見神楽大会	日本石見神楽大会実行員会	2月開催予定	1回	石央文化ホール	石見神楽公演	有	未開催
浜田	浜田駅周辺イルミネーション	建設企画課	11/23-2/28		浜田駅前から万灯山公園まで	浜田駅前から万灯山公園までのイルミネーション	無	不明
全域	山陰浜田港マリン大橋リレーマラソン	山陰浜田港マリン大橋リレーマラソン実行委員会	未定	1回	浜田漁港周辺	マリン大橋を往復するマラソン大会。各種部門があり、昨年度は山陰地方初となる4時間耐久レースを実施。	有	600人
金城	神楽の里 かなぎ共演大会	金城町石見神楽社中連絡協議会	3月開催予定	1回	ふれあいジムかなぎ	石見神楽公演	有	未開催
金城	美又温泉まつり	美又温泉まつり実行委員会	10月4日、10月5日	1回	美又温泉国民保養センター、美又温泉会館等	「温泉総選挙」全国1位を獲得した美又温泉のPRとともに、石見神楽の上演やアトラクション、バザー等を開催。	有	約600人
金城	さざんか祭り	さざんか祭り実行委員会	11月2日、11月3日	1回	ふれあいジム・かなぎ	2日間かけて行われる金城町の産業祭。金城町内を中心とした事業所・団体の出店や、石見神楽上演等を実施。	有	約5,000人

地域	名称	主催	開催日時	開催回数	会場	イベントの内容	市民参加の有無	来場者数 (又は見込み)
金城	大収穫祭	社会福祉法人いわみ福祉会	11月23日	1回	ふれあいジム・かなぎ	屋台やキッチンカーでのグルメ、フリーマーケット、ステージでの演芸発表、障害者アート作品展など。	有	約1,500人
旭	石見のまんなか神楽市	石央商工会青年部	6月7日	1回	地域交流プラザまんてん	石見神楽公演	有	不明
旭	なんと舞いんさるほーほーほたるこい祭り	ふる里市木ほたる祭り実行委員会 (市木地区まちづくり推進委員会)	6月14日	1回	市木ふれあい広場	ほたるを地区活性化の起爆剤として活用し、交流や異文化の観劇鑑賞等による生涯学習を目的として開催。	有	750人
旭	旭温泉まつり	旭温泉まつり実行委員会	9月14日	1回	旭温泉あさひ荘周辺	旭温泉利用者への感謝と地域活性化を目的として、石見神楽等のステージイベントや地元団体の出店が行われる。	有	不明
旭	あさひライジングサンスポーツ王国	あさひライジングサンスポーツ王国実行委員会	7/28、8/16、8/23、 8/31、9/7	5回	旭公園野球場他、市民体育館	地方・都市交流の推進、PR、交流の場づくりとして、雪合戦夏の陣、グラウンドゴルフ、野球、モルックを開催。	有	400人
旭	旭温泉湯ったり神楽	旭支所産業建設課	9/6-11/8	10回	旭温泉あさひ荘休憩棟	旭町内の10団体が週替わりで石見神楽を上演する。	有	400人
旭	旭ふる里まつり2025	旭ふる里まつり実行委員会	11月9日	1回	旭公園市民体育館、浜田市旭支所周辺	地元農林産物の品評会と即売会、島根あさひ社会復帰促進センターの矯正展やステージアトラクション等を実施。	有	2,500人
弥栄	弥栄ふるさとまつり	弥栄ふるさとまつり実行委員会	8月15日	39回	弥栄支所前イベント広場	田ばやし、石見神楽等の上演、打ち上げ花火等を実施。地元団体等の出店販売も行われる。	有	3000人
弥栄	弥栄産業まつり	弥栄産業まつり実行委員会	11月3日	36回	弥栄支所前イベント広場	地元集落を中心とした農林産物及び特産品の展示即売を実施。地元社中による石見神楽上演等も行われる。	有	3000人
弥栄	どぶろくの里弥栄神楽まつり	弥栄神楽まつり実行委員会	2月28日	19回	弥栄会館	地元神楽社中を中心とした石見神楽の共演大会。どぶろく等の出店販売も行われる。	有	450人
三隅	大平桜まつり	大平桜実行委員会	3月22日~4月6日	1回	大平桜周辺	特産品や軽食の販売の他、地元出演者によるステージイベント、石見神楽の上演等が行われる。	有	1,000人
三隅	三隅のつつじウィーク(三隅のつつじポケットマルシェ)	三隅のつつじウィーク実行委員会	4月27日	1回	三隅公園	「三隅のつつじポケットマルシェ」、「三隅神社例大祭・水神祭」が開催される。	有	1,600人
三隅	梅狩り	三隅支所産業建設課	6月7日	1回	三隅公園	昭和47年に入学や結婚などの記念に植樹された三隅梅林公園の約1,000本の梅狩りを行う。	有	597人
三隅	平原柿まつり	平原柿まつり実行委員会	11月2日	1回	東平原上集会所	柿取り収穫体験や石見神楽、餅まきなどいろいろなイベントや、地元農産品の販売が行われる。	有	約400人
三隅	みすみフェスティバル	みすみフェスティバル実行委員会	11月8日、11月9日	1回 (2日間)	三隅中央公園 三隅中央会館	三隅町内外からの各種出店テント、ステージイベント、石州和紙会館や石正美術館などの施設でも様々な催しあり。	有	7,500人/2日間
三隅	三隅の石見神楽舞い	三隅町石見神楽社中協議会	8月31日	1回	三隅中央会館	石見神楽公演	有	不明
三隅	和紙と灯りのタペ2025夏	浜田市石州和紙会館	8月11日	1回	浜田市石州和紙会館及び周辺広場	和紙に関する展示やワークショップを実施。	有	280人
三隅	いわみの冬至祭	いわみの冬至祭実行委員会	12月13日	1回	三隅中央公園	石州和紙会館、三隅図書館、アクアみすみ、石正美術館、石見CATVによるイルミネーションやイベントを実施。	有	不明

浜田駅周辺活性化社会実験について

浜田駅周辺エリア活性化に向けた施策の検討にあたり、賑わい創出の可能性や課題などを把握するため、次のとおり場所や期間を限定した社会実験を実施します。

1 社会実験の企画内容 ※以下は主な企画内容であり、この他にも出店があります。

開催日	主な企画内容
9月14日(日)	まちなか夜神楽 場所：三桜酒造跡地 時間：19時～21時(予定) ※キッチンカー3台出店予定
9月21日(日)	石州酒まつり 場所：三桜酒造跡地 時間：12時～17時(予定) 内容：8酒蔵(県内7酒蔵、県外1酒蔵)が集結し、酒の魅力を発信 ホビーマルシェ 場所：三桜酒造跡地 時間：10時～15時(予定) 内容：ハンドメイド雑貨販売、ワークショップ、射的など
9月23日(祝)	健康促進を楽しむ会～フレイル予防～ 場所：三桜酒造跡地 時間：10時～15時(予定) 内容：吹き矢体験、健康マージャン、駄菓子屋、ケーキ販売など 水高生によるフィッシュレザー小物販売 場所：三桜酒造跡地 時間：10時～12時
9月28日(日)	黒川町2町内もりあげ隊による団子無料配布・レモネード提供など 場所：三桜酒造跡地 時間：9時～12時(予定) 有償たすけあいシステム「おたがいさま浜田」の商品販売及びPR 場所：三桜酒造跡地 時間：10時～14時(予定)

10 月 5 日 (日)	BUY 浜田昼市 場所：三桜酒造跡地 時間：11 時～15 時（予定） 内容：市内業者による地元農産物や飲食物の販売、ステージイベント（保育園児による BUY 浜田ダンス、県大よさこいなど） まちなか交流プラザ「モルック体験会」 場所：まちなか交流プラザ 時間：11 時～15 時（予定） 内容：県大生主催でモルック体験会を実施 お宝さがし！ in 石央文化ホール 場所：石央文化ホール 時間：16 時～17 時（予定） 内容：石央文化ホール内を探索して景品をゲットする宝さがし
--------------	--

2 社会実験の効果検証

来場者、出店者、周辺店舗、周辺住民から効果・課題検証のためのアンケートを取る予定。

アンケート項目や結果分析については、浜田市立地適正化計画のコンサル業者の協力を得ながら進める予定。

＜アンケート項目＞

- 集客力（どのくらい人が来るかなど）
- 満足度（来場者、出店者、周辺店舗、周辺住民）
- 地域への波及効果（売上、客数など）
- 交通手段（どこの駐車場を利用したかなど）
- 今後の課題 など

令和6年度 ふるさと寄附のランキングについて

1 令和6年度 中国地方ランキング

総務省が令和 7 年 7 月 31 日に発表した令和 6 年度の「ふるさと納税に関する現況調査結果」によると、浜田市の寄附金額は、中国地方で第 4 位でした。（※県内では第 2 位）

（単位：千円、件）

団体名		令和 4 年度			令和 5 年度			令和 6 年度		
		順位	金額	件数	順位	金額	件数	順位	金額	件数
山口県	下関市	6	945,734	51,531	2	1,675,593	102,634	1	2,635,502	160,300
鳥取県	米子市	1	1,373,506	103,047	1	1,926,706	154,384	2	1,627,512	114,817
島根県	出雲市	4	1,045,479	32,487	3	1,573,746	40,067	3	1,598,878	42,904
島根県	浜田市	2	1,194,488	50,799	5	1,112,436	44,272	4	1,405,414	62,970
岡山県	瀬戸内市	7	918,306	47,497	6	1,030,003	47,788	5	1,311,511	51,620
岡山県	総社市	10	590,704	16,896	12	759,867	21,950	6	1,274,983	42,921
岡山県	吉備中央町	5	950,041	25,249	4	1,115,576	45,546	7	1,111,143	47,380
岡山県	津山市	27	385,870	20,917	9	856,275	51,573	8	1,099,145	59,356
広島県	大竹市	14	515,789	7,248	7	987,142	16,640	9	1,020,030	19,839
広島県	呉市	30	342,418	20,787	10	777,140	49,918	10	990,659	54,206
岡山県	矢掛町	16	487,817	37,976	11	767,834	57,198	11	967,199	66,437
鳥取県	鳥取市	8	901,927	28,943	13	750,234	25,186	12	935,016	26,224
鳥取県	北栄町	9	809,606	43,833	8	873,145	49,540	13	794,785	44,758
島根県	奥出雲町	29	364,293	15,598	38	337,570	14,016	14	770,954	22,082
岡山県	倉敷市	21	448,495	16,044	14	732,496	22,462	15	764,446	24,776
鳥取県	倉吉市	15	511,971	18,221	18	593,763	19,879	16	693,318	20,773
岡山県	岡山市	20	451,077	19,461	28	446,687	19,671	17	690,602	29,198
山口県	長門市	12	545,639	21,053	17	596,252	22,041	18	675,247	25,135
島根県	安来市	17	480,625	13,874	23	535,685	16,663	19	652,795	21,056
広島県	神石高原町	3	1,065,116	24,870	15	661,797	25,964	20	632,892	23,481
鳥取県	江府町	11	587,245	29,108	16	608,848	31,470	21	617,552	29,801
岡山県	里庄町	23	429,600	15,402	24	519,154	19,433	22	579,833	22,298
広島県	広島市	41	207,716	2,539	41	298,993	5,428	23	579,486	1,238
岡山県	和気町	45	188,810	9,640	43	282,451	18,363	24	566,464	29,430
広島県	尾道市	13	525,776	17,155	22	551,073	16,816	25	558,155	18,956
鳥取県	大山町	18	471,117	30,510	21	554,445	33,917	26	548,850	30,854
岡山県	笠岡市	25	405,477	29,664	29	445,301	28,399	27	544,998	27,323
島根県	松江市	42	205,066	11,728	33	388,531	18,136	28	520,173	19,489
鳥取県	境港市	24	408,649	24,759	36	370,490	18,790	29	510,066	20,613
岡山県	玉野市	22	435,615	23,593	20	555,053	27,739	30	474,177	22,552

※上位30位までを掲載

2 令和6年度 全国ランキング

浜田市は、全国 1,788 の自治体で 213 番目でした。

(単位：千円)

団体名		R1	R2	R3	R4	令和 5 年度		令和 6 年度	
		順位	順位	順位	順位	順位	金額	順位	金額
兵庫県	宝塚市	555	843	794	763	754	286,762	1	25,667,712
北海道	白糠町	4	4	4	4	4	16,778,420	2	21,165,354
大阪府	泉佐野市	1	52	5	5	3	17,514,090	3	18,151,603
宮崎県	都城市	2	1	2	1	1	19,384,044	4	17,692,074
北海道	別海町	981	778	63	12	5	13,902,661	5	17,350,452
北海道	根室市	5	3	3	3	6	12,554,070	6	14,690,953
愛知県	名古屋市	362	213	76	14	7	11,709,947	7	13,791,111
宮崎県	宮崎市	304	333	54	17	15	8,192,009	8	13,243,250
北海道	紋別市	3	2	1	2	2	19,213,001	9	13,083,317
宮城県	気仙沼市	490	366	127	27	12	9,489,063	10	12,165,042
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
島根県	浜田市	66	124	150	184	247	1,112,436	213	1,405,414
〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
全国合計							1,117,499,542		1,272,752,409

※全国自治体数：1,788

※全国の寄附額は、約 1 兆 2,728 億円（対前年度比：約 1.1 倍）、約 5,879 万件（同：約 1.0 倍）

3 令和6年度 浜田市への地方別寄附状況

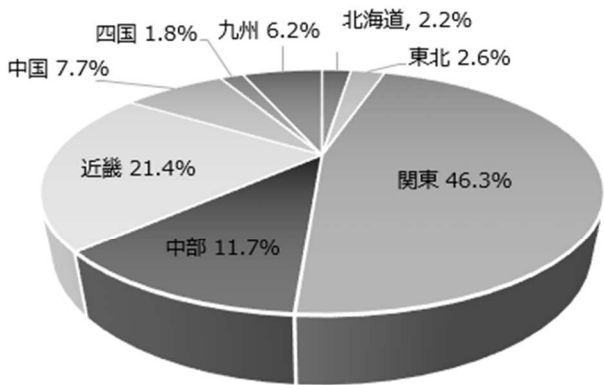
(1) 地方別割合

(単位：件、円)

地方	件数 (割合)		金額 (割合)	
北海道	1,416	2.2%	27,402,000	1.9%
東北	1,649	2.6%	29,049,000	2.1%
関東	29,134	46.3%	659,322,304	46.9%
中部	7,370	11.7%	154,763,100	11.0%
近畿	13,500	21.4%	314,902,016	22.4%
中国	4,877	7.7%	107,191,000	7.6%
四国	1,141	1.8%	23,667,000	1.7%
九州	3,882	6.2%	89,108,000	6.3%
合計	62,969	100.0%	1,405,404,420	100.0%

(国外 1件 10,000円)

令和6年度 浜田市への寄附者地方別割合(件数)



(2) 関東地方の内訳

(単位：件、円)

都道府県	件数 (割合)		金額 (割合)	
茨城県	781	1.2%	16,210,000	1.2%
栃木県	539	0.9%	15,028,000	1.1%
群馬県	557	0.9%	11,161,000	0.8%
埼玉県	3,141	5.0%	67,387,000	4.8%
千葉県	3,128	5.0%	65,653,193	4.7%
東京都	14,873	23.6%	351,365,111	25.0%
神奈川県	6,115	9.7%	132,518,000	9.4%
合計	29,134	46.3%	659,322,304	46.9%

(3) 近畿地方の内訳

(単位：件、円)

都道府県	件数 (割合)		金額 (割合)	
三重県	595	0.9%	13,227,000	0.9%
滋賀県	731	1.2%	16,076,000	1.1%
京都府	1,562	2.5%	37,413,000	2.7%
大阪府	6,009	9.5%	138,715,016	9.9%
兵庫県	3,560	5.7%	83,937,000	6.0%
奈良県	700	1.1%	17,979,000	1.3%
和歌山県	343	0.5%	7,555,000	0.5%
合計	13,500	21.4%	314,902,016	22.4%

※割合は小数第2位を四捨五入しているため合計が合わないことがあります。

はまだお米クーポン券の利用状況等について

1 クーポン券配布及び利用状況

	金額等	備 考
クーポン券配布金額 (A)	47,516,000 円	23,758 枚配布 (うち申請分 1,220 枚)
クーポン券換金額 (B)	12,660,000 円	
8/20 換金分	7,016,000 円	換金店舗数 : 11 店舗
9/3 換金分	5,644,000 円	〃 : 10 店舗
うち米以外の利用	5,820,000 円	米以外利用率 : 46.0%
換金率 (B/A)	26.6%	

2 配布申請の受付状況について

- (1) 申請受付期間 令和 7 年 8 月 1 日 (金) ～8 月 29 日 (金)
- (2) 申請受付件数 1,220 件

3 今後の利用について

- (1) 利用可能期間 令和 7 年 8 月 1 日 (金) から 11 月 28 日 (金) まで
- (2) 利用可能店舗 39 店舗

4 今後の換金スケジュールについて

9 月 24 日 (水)、10 月 15 日 (水)、10 月 29 日 (水)、11 月 19 日 (水)、
12 月 3 日 (水)、12 月 17 日 (水)

令和7年8月7日からの豪雨による被害状況について

令和7年8月18日現在

		浜田地域		金城地域		旭地域		弥栄地域		三隅地域		計	
		箇所	被害額 (千円)	箇所	被害額 (千円)	箇所	被害額 (千円)	箇所	被害額 (千円)	箇所	被害額 (千円)	箇所	被害額 (千円)
農地	本災	0	0	0	0	0	0	2	7,000	0	0	2	7,000
	単災	1	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	1	1,000	0	0	0	0	2	7,000	0	0	3	8,000
農業用施設	本災	0	0	1	4,000	0	0	0	0	0	0	1	4,000
	単災	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	計	0	0	1	4,000	0	0	0	0	0	0	1	4,000
合計	本災	0	0	1	4,000	0	0	2	7,000	0	0	3	11,000
	単災	1	1,000	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1,000
	委託	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	合計	1	1,000	1	4,000	0	0	2	7,000	0	0	4	12,000

※別途、査定対応のため測量設計業務委託費が必要。

令和7年8月7日からの豪雨による被害状況について

道路

(単位：千円)

	本災		単災		委託		道路計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
浜田	2	22,000	13	7,800	12	7,800	27	37,600
金城	1	11,000	1	500	0	0	2	11,500
旭	0	0	0	0	6	3,600	6	3,600
弥栄	1	6,000	1	600	1	500	3	7,100
三隅	0	0	1	500	0	0	1	500
計	4	39,000	16	9,400	19	11,900	39	60,300

河川

(単位：千円)

	本災		単災		委託		河川計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
浜田	0	0	2	1,600	2	2,600	4	4,200
金城	0	0	0	0	0	0	0	0
旭	0	0	0	0	0	0	0	0
弥栄	0	0	0	0	0	0	0	0
三隅	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	2	1,600	2	2,600	4	4,200

合計

(単位：千円)

	本災		単災		委託		合計	
	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額	箇所	被害額
浜田	2	22,000	15	9,400	14	10,400	31	41,800
金城	1	11,000	1	500	0	0	2	11,500
旭	0	0	0	0	6	3,600	6	3,600
弥栄	1	6,000	1	600	1	500	3	7,100
三隅	0	0	1	500	0	0	1	500
計	4	39,000	18	11,000	21	14,500	43	64,500

※別途、査定対応及び発注のため測量設計業務委託費として7,500千円必要。

浜田市立地適正化計画の策定について

浜田市では、今年度から立地適正化計画の策定に着手します。また、計画策定に併せ、長期未着手となっている都市計画道路の見直しにも取り組みます。

1 立地適正化計画の概要

今後の都市像を描き、公共施設だけでなく、住宅や、医療・福祉・商業等の民間施設を対象として「誘導による都市構造の再編」を図るための制度

※都市計画区域の中に、居住を誘導して人口密度を一定以上に維持する「居住誘導区域」と、都市機能の誘導を図る「都市機能誘導区域」を設定し、その誘導のために講ずべき施策等を定める。

※都市の防災に関する機能の確保に関する指針（防災指針）も定める。

2 委託業者

- (1) 業者名 株式会社エイト日本技術開発 浜田支店
- (2) 契約日 令和 7 年 8 月 6 日
- (3) 契約額 13,896,300 円（令和 7 年度分）
※令和 8・9 年度分は同社との随意契約を予定
- (4) 選定方法 公募型プロポーザル（3 者応募）

3 策定スケジュール（予定）

- (1) 令和 7 年度
 - ・既存資料の収集・整理（人口、土地利用、交通、地域経済、防災 等）
 - ・市民意向の把握
 - ・都市の位置づけ、都市が抱える課題の分析・把握
- (2) 令和 8 年度
 - ・まちづくりの方針、目指すべき都市像の設定
 - ・都市機能誘導区域、誘導施策の検討
 - ・居住誘導区域、誘導施策の検討
 - ・防災指針の検討
 - ・目標値等の検討、施策の達成状況に関する評価方法の検討
 - ・浜田市立地適正化計画（素案）の作成
 - ・都市計画道路見直し対象区間の抽出・検証、見直し方針（素案）の作成
- (3) 令和 9 年度
 - ・パブリックコメント等の実施
 - ・浜田市立地適正化計画の作成・公表
 - ・都市計画道路見直し方針の作成・公表

リフレパークきんたの里浴槽系統制御盤の修繕について

リフレパークきんたの里において、浴槽系統制御盤の故障が発生し、施設運営及び施設利用者へ支障をきたす事案が発生したことから、緊急修繕を行いましたので以下のとおり報告いたします。

1 概要

- (1) 日時 令和 7 年 7 月 19 日（土）
- (2) 場所 浜田市金城町七条
リフレパークきんたの里 機械室
- (3) 項目 浴槽系統制御盤
- (4) 状況 風呂及びサウナの発停・温度管理等を行う制御盤の操作を行うモニターがエラー表示となり、浴槽とサウナの温度調整やボイラー発停の制御及び管理ができない状態となった。同日から令和 7 年 8 月 7 日まで日帰り入浴の営業を制限し、宿泊客を優先した対応を実施。

2 緊急修繕について

令和 7 年 7 月 19 日（土）に、浴槽及びサウナの温度管理等を行う制御盤の故障が発生しました（平成 10 年の設置時から不具合は発生しておらず、経年劣化による故障が原因と推察）。これにより、浴槽・サウナの温度調整やボイラーの発停の制御及び管理ができない状態であり、施設運営及び施設利用者に支障をきたしていることから、令和 7 年 7 月 29 日（火）に予備費を充用して浴槽系統制御盤の緊急修繕を行いました。

- (1) 修繕内容 リフレパークきんたの里 浴槽系統制御盤修繕
- (2) 契約金額 2,612,544 円（税込）
- (3) 修繕期間 令和 7 年 7 月 30 日（水）～8 月 7 日（金）

旭温泉水有効活用起業支援事業補助金に係る損害賠償請求事件の
第一審判決について

このことについて、判決内容及び今後の対応について下記のとおり報告します。

1 訴訟の経過

令和 5 年 10 月 26 日 大阪地方裁判所堺支部に訴えの提起
11 月 20 日 裁判所から訴状等の特別送達
令和 7 年 8 月 21 日 大阪地方裁判所堺支部で棄却判決の言渡し

2 事案の概要

元代表者及び元経理担当者 2 名（原告）は、浜田市（被告）に対し、債務不履行に基づく損害賠償請求として 40,928,750 円及び遅延損害金の支払いを求めたものである。

3 請求の趣旨

- (1) 被告は原告各自に対し、40,928,750 円及びこれに対する 2016（平成 28 年）年 11 月 14 日から支払済みまで年 3 分の割合による金員
- (2) 訴訟費用は被告の負担とする

4 判決

- (1) 主文
 - ア 原告らの請求をいずれも棄却する
 - イ 訴訟費用は原告らの負担とする
- (2) 判決理由の要旨

被告は、原告らに対し、債務不履行に基づく損害賠償請求を負わないというべきである。よって、原告らの請求はいずれも理由がないからこれを棄却する。

5 今後の対応

原告の動向を注視し、令和 6 年別訴で提起した訴訟が係争中であり、引き続き対応する。

〈令和7年8月〉

漁業別水揚げについて（報告）

令和7年9月11日
産業建設委員会資料No.1
産業経済部水産振興課

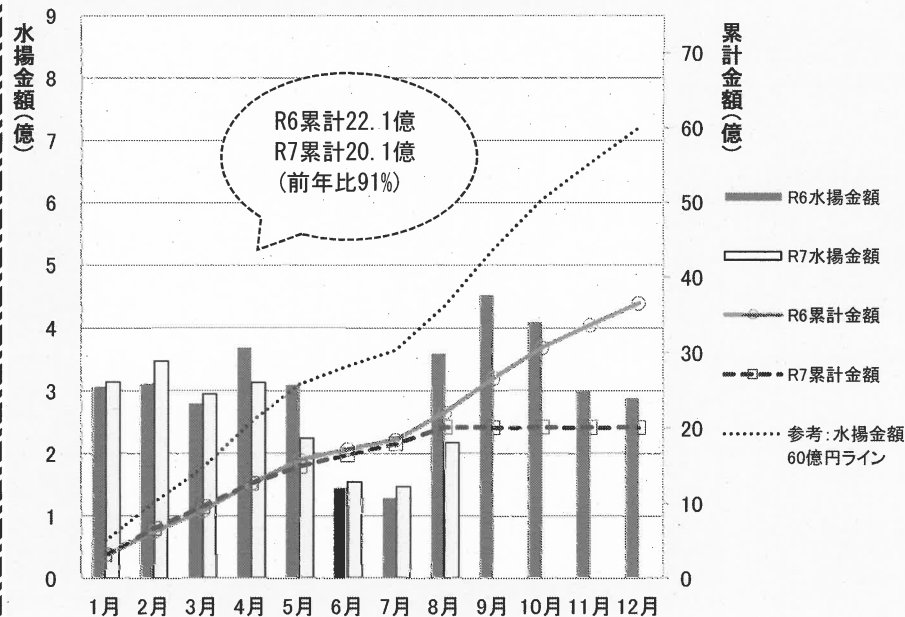
◆全体状況◆ 水揚量：303トン（前年比：35%、▲556トン） 水揚金額：2億1,679万円（前年比：61%、▲1億4,146万円）

【地元沖合底びき網漁業】水揚量：85トン（前年比100%、+0.1トン）
水揚金額：1億1,858万円（前年比95.6%、▲548万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マダイ	R6.8	8.9	1,050	1,174円
	R7.8	3.1	269	871円
ケンサキイカ	R6.8	1.8	2,089	1,147円
	R7.8	4.3	4,771	1,114円
ノドグロ (メッキン除く)	R6.8	11.8	67,540	5,716円
	R7.8	9.1	69,466	7,625円
ササカレイ	R6.8	3.7	6,224	1,681円
	R7.8	1.2	1,586	1,283円

◆3ヶ統(1ヶ統、5月末で廃業)による操業開始等の影響が心配されたが、全体の水揚量は昨年並みを確保した。しかしカレイ類やマダイ等の水揚量が減少したため、水揚金額はマイナスとなった。

R6・R7 水揚金額



【地元中型まき網漁業】水揚量：70トン（前年比81%、▲17トン）
水揚金額：1,716万円（前年比72%、▲674万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マアジ	R6.8	53.8	17,452	324円
	R7.8	23.9	10,020	419円
マサバ	R6.8	29.0	4,018	139円
	R7.8	40.0	4,061	101円
カマス	R6.8	0.2	118	683円
	R7.8	1.2	1,109	902円

◆マアジの単価は昨年を上回ったが、水揚量は大きく減少した。このことを要因に全体の水揚量と金額もマイナスの実績となった。まき網漁業はマサバが主体の漁況が継続。

【地元外中型まき網漁業】水揚量：88トン（前年比17%、▲421トン）
水揚金額：2,143万円（前年比18%、▲9,582万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マイワシ	R6.8	11.2	414	37円
	R7.8	0.2	13	64円
マアジ	R6.8	361.8	94,824	262円
	R7.8	58.9	17,664	300円
マサバ	R6.8	123.4	15,447	125円
	R7.8	23.5	2,347	100円

◆昨年は隠岐船団が浜田沖にて操業していたが、今年は入港回数が大きく減少(23回→7回)。水揚量、金額ともに減少した。

【大中型まき網漁業】水揚量：24トン（前年比17%、▲114トン）
水揚金額：714万円（前年比20%、▲2,812万円）

魚種名	年度	数量(t)	金額(千円)	平均単価/kg
マアジ	R6.8	71.5	28,168	394円
	R7.8	—	—	—
マサバ	R6.8	54.5	6,048	111円
	R7.8	—	—	—
ブリ	R6.8	—	—	—
	R7.8	23.6	7,005	297円

◆昨年同月はマアジ・マサバが豊漁であったが、今年は漁獲がなかった。今年はワラサ(ブリ小サイズ)が主体の漁況であったが、水揚量、金額は前年を下回った。

令和6年 令和7年 漁業別水揚げ比較表
8月

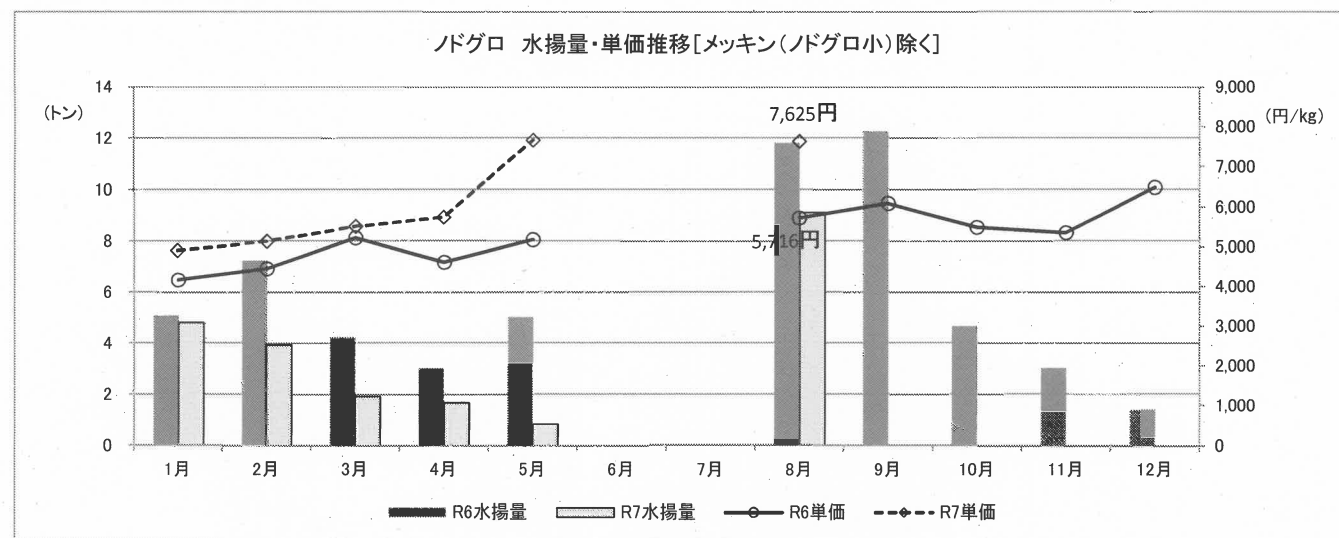
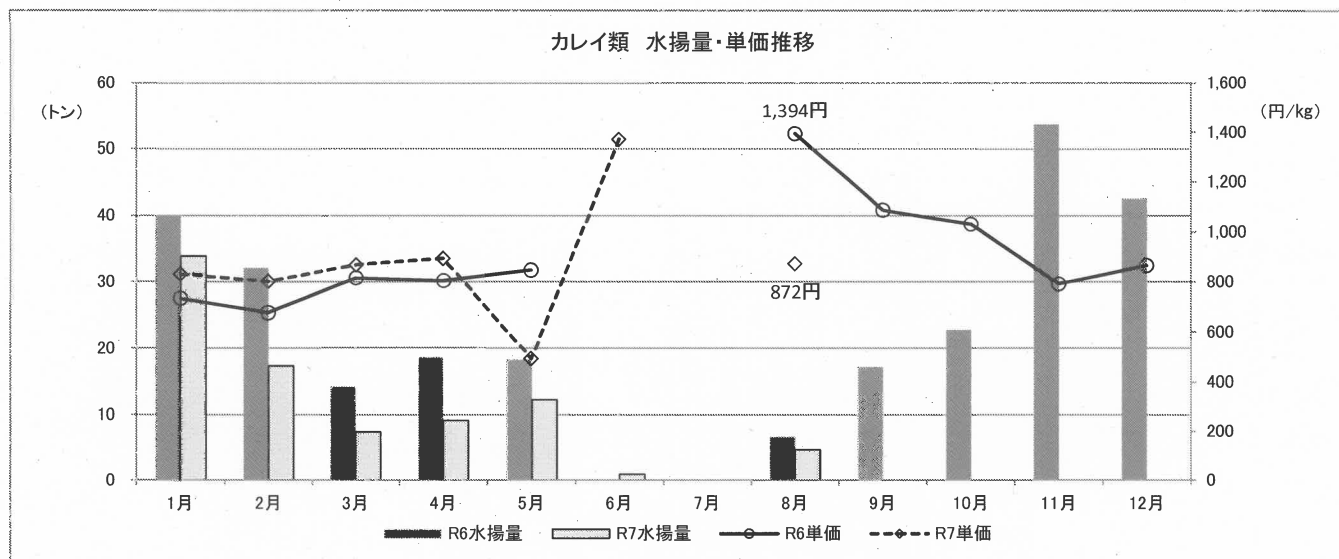
漁業種類	年	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
01 沖合底曳網(地元船)	6	84,813.6	100.1	114,872,950	95.6	124,062,786
	7	84,925.6		109,798,990		118,582,909
02 沖合底曳網(地元外)	6	0.0	-	0	-	0
	7	0.0		0		0
03 小型底曳網	6	0.0	-	0	-	0
	7	0.0		0		0
04 大中型旋網	6	137,601.0	17.4	32,649,216	20.3	35,261,153
	7	23,891.0		6,614,935		7,144,130
05 中型旋網(地元船)	6	86,627.0	80.8	22,127,560	71.8	23,897,764
	7	69,994.1		15,886,903		17,157,856
06 中型旋網(地元外)	6	508,810.0	17.3	108,557,570	18.3	117,242,175
	7	87,787.0		19,835,925		21,422,798
07 小型いか釣(5t以上)	6	13,896.0	29.9	21,419,540	30.5	23,133,102
	7	4,154.0		6,537,370		7,060,360
08 いか釣(5t未満)	6	824.0	-	1,116,660	-	1,205,993
	7	20.0		33,950		36,666
09 大型定置網	6	7,341.4	178.1	2,984,820	120.2	3,223,606
	7	13,076.8		3,586,695		3,873,632
10 小型定置網	6	157.1	1,056.7	32,880	297.1	35,510
	7	1,660.0		97,680		105,494
11 しら網	6	0.0	-	0	-	0
	7					0
12 一本釣(浜田)	6	2,051.6	86.7	4,614,930	70.1	4,984,126
	7	1,778.8		3,236,380		3,495,293
13 一本釣(国府)	6	1,234.0	81.3	2,987,960	71.6	3,226,996
	7	1,003.6		2,140,690		2,311,947
14 一本釣(長浜)	6	693.3	94.5	1,644,286	146.6	1,775,830
	7	654.9		2,410,291		2,603,116
15 一本釣(津摩)	6	697.5	100.0	1,112,740	101.1	1,201,759
	7	697.4		1,125,340		1,215,369
16 一本釣(三隅)	6	402.2	130.5	972,240	124.7	1,050,018
	7	525.0		1,212,120		1,309,089
17 一本釣(江津)	6	1,655.6	85.8	3,034,890	97.6	3,277,681
	7	1,419.8		2,962,270		3,199,253
18 近隣支所	6	1,488.0	4.3	1,716,600	9.7	1,853,928
	7	64.0		166,700		180,036
19 その他	6	68.8	304.5	83,850	441.8	90,558
	7	209.5		370,411		400,044
20 陸送	6	11,018.2	103.9	11,781,330	209.8	12,723,839
	7	11,447.9		24,714,210		26,691,350
合計	6	859,379.3	35.3	331,710,022	60.5	358,246,824
	7	303,309.4		200,730,860		216,789,342
前年との増減		-556,069.9		-130,979,162		-141,457,482

1月～8月累計

					令和7年9月11日 産業建設委員会資料No.2 産業経済部水産振興課				
数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)	数量(kg)	比率(%)	金額(税抜)	比率(%)	金額(税込)
1,125,244.2	130.0	947,910,142	114.4	1,023,742,956	1,463,353.0	-	1,084,399,070	-	1,171,151,001
0.0		0		0	0.0		0		0
0.0	-	0	-	0	0.0	-	0	-	0
0.0		0		0	0.0		0		0
805.0	71.5	993,350	59.2	1,072,817	3,448,775.0	99.4	391,329,991	75.8	422,636,391
2,467,319.5		231,662,813		250,195,840	1,299,082.9	46.5	221,256,093		238,956,580
1,290,969.7	82.9	167,627,098	60.5	181,037,269	915,535.0		185,683,508	31.8	200,538,188
425,565.0		59,025,403		63,682,629	37,413.5	87.9	46,465,580		50,182,823
31,018.0	427.7	28,128,550	231.6	30,378,832	1,520.0		1,823,810	67.5	1,969,716
1,336.3		1,230,740		1,329,199	163,844.9	904.4	50,079,145		54,085,479
700,790.0	-	115,978,482	163.1	125,256,765	2,982.1		1,301,780	91.2	2,206,603,388
26,970.0		2,122,830		2,292,655	0.0	90.1	0		2,012,139,419
0.0	65.2	0	66.3	0	0.0		0	36.6	-194,463,969
53,516.4		39,825,668		43,011,732	53,516.4	76.7	39,825,668		
34,890.9	68.5	26,411,227	95.6	28,524,131	34,890.9		26,411,227	82.8	
22,869.7		11,801,502		12,745,621	22,869.7	102.3	11,801,502		
15,663.5	143.3	11,279,004	128.9	12,181,333	15,663.5		11,279,004	90.3	
12,391.4		14,738,899		15,918,013	12,391.4	70.3	14,738,899		
17,757.1	12.0	18,996,383	36.6	20,516,101	17,757.1		18,996,383	228.2	
6,516.6	379.4	8,825,090		9,531,094	6,516.6	44.3	8,825,090		
4,996.3		7,309,662	95.9	7,894,442	4,996.3		7,309,662		
5,887.8	70.3	7,338,380	90.3	7,925,451	5,887.8	90.1	7,338,380		
6,025.2		7,037,600		7,600,608	6,025.2		7,037,600		
26,880.4	12.0	21,480,777	36.6	23,199,240	26,880.4	90.1	21,480,777		
18,903.2		19,396,261		20,947,964	18,903.2		19,396,261		
44,803.8	379.4	15,043,787	228.2	16,247,291	44,803.8	44.3	15,043,787	95.5	
5,355.7		5,511,581		5,952,506	5,355.7		5,511,581		
794.0	44.3	1,018,310	228.2	1,099,775	794.0	90.1	1,018,310		
3,012.8		2,323,905		2,509,818	3,012.8		2,323,905		
116,361.7	90.1	77,228,806	91.2	83,407,116	116,361.7		77,228,806		
51,566.7		73,718,061		79,615,509	51,566.7		73,718,061		
7,284,419.4	-	2,043,151,268	-	2,206,603,388	7,284,419.4	-	2,043,151,268		
6,566,297.9		1,863,152,020		2,012,139,419	6,566,297.9		1,863,152,020		
-718,121.5		-179,999,248		-194,463,969	-718,121.5		-179,999,248		

地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

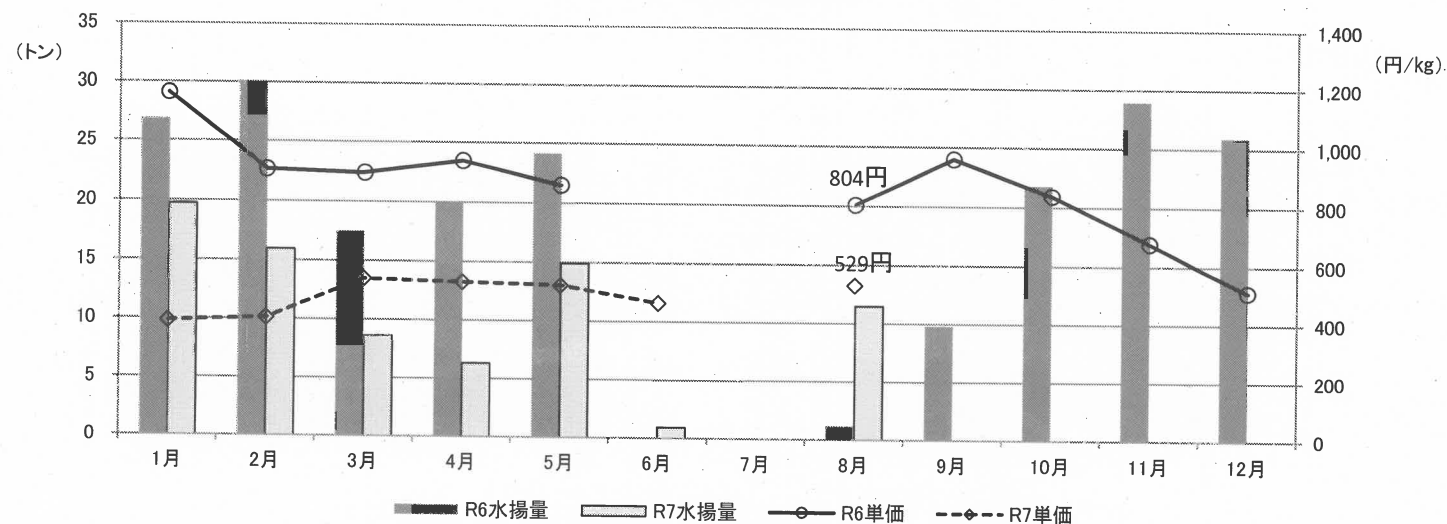
令和7年9月11日
産業建設委員会資料No.3
産業経済部水産振興課



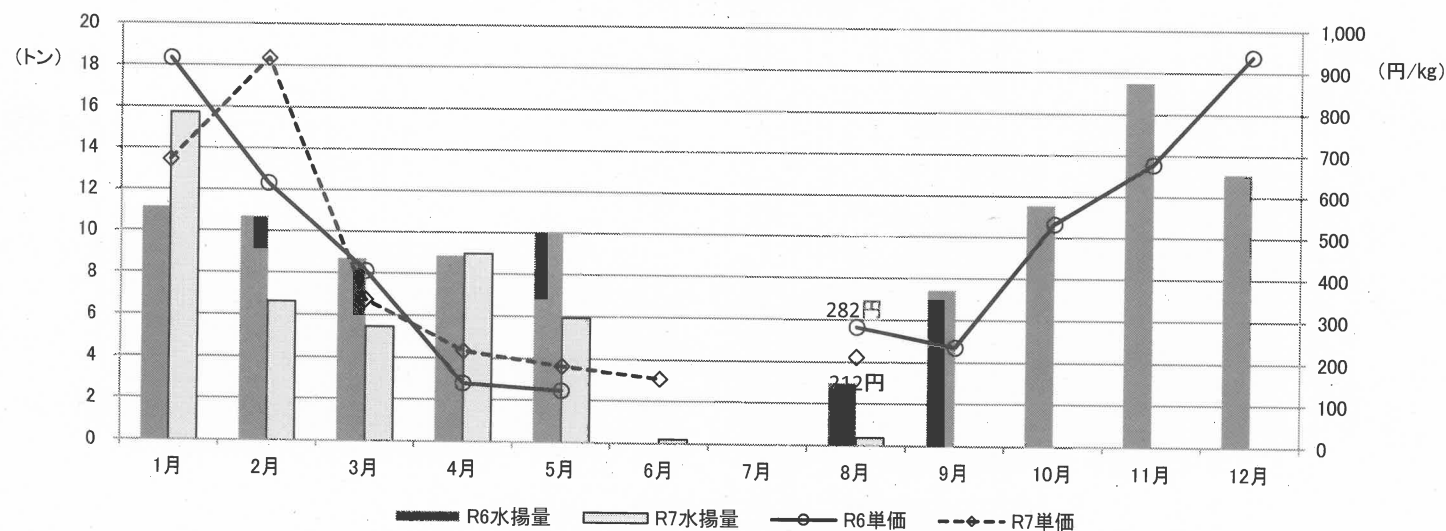
地元沖合底びき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和7年9月11日
産業建設委員会資料No.4
産業経済部水産振興課

アナゴ 水揚量・単価推移



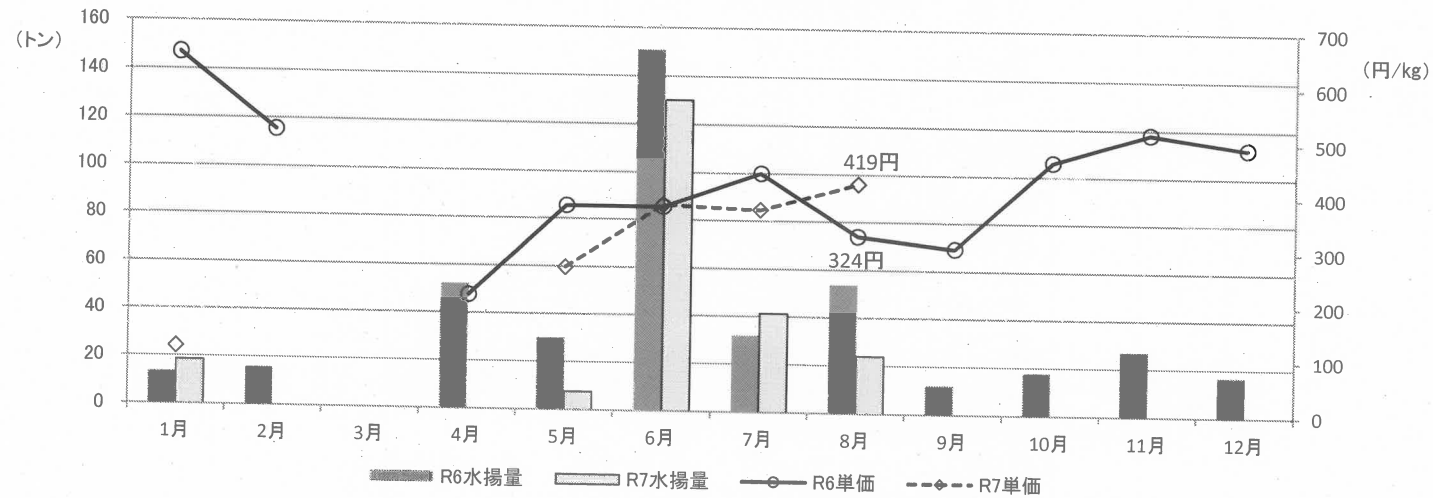
アンコウ 水揚量・単価推移



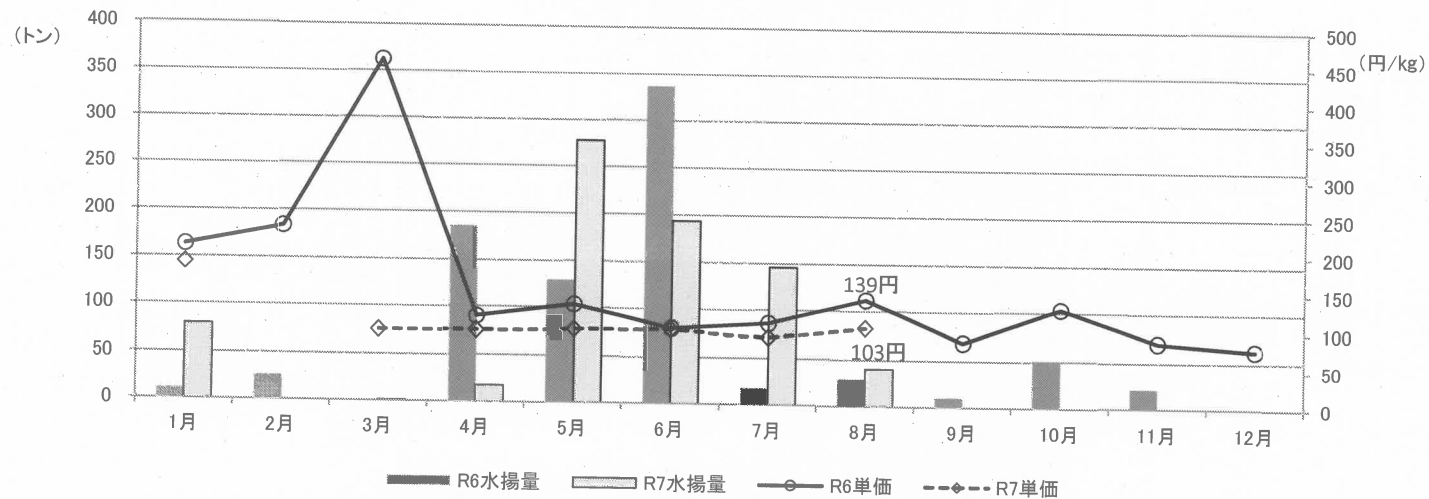
地元中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

令和7年9月11日
産業建設委員会資料No.5
産業経済部水産振興課

地元中型船 マアジ水揚量・単価推移

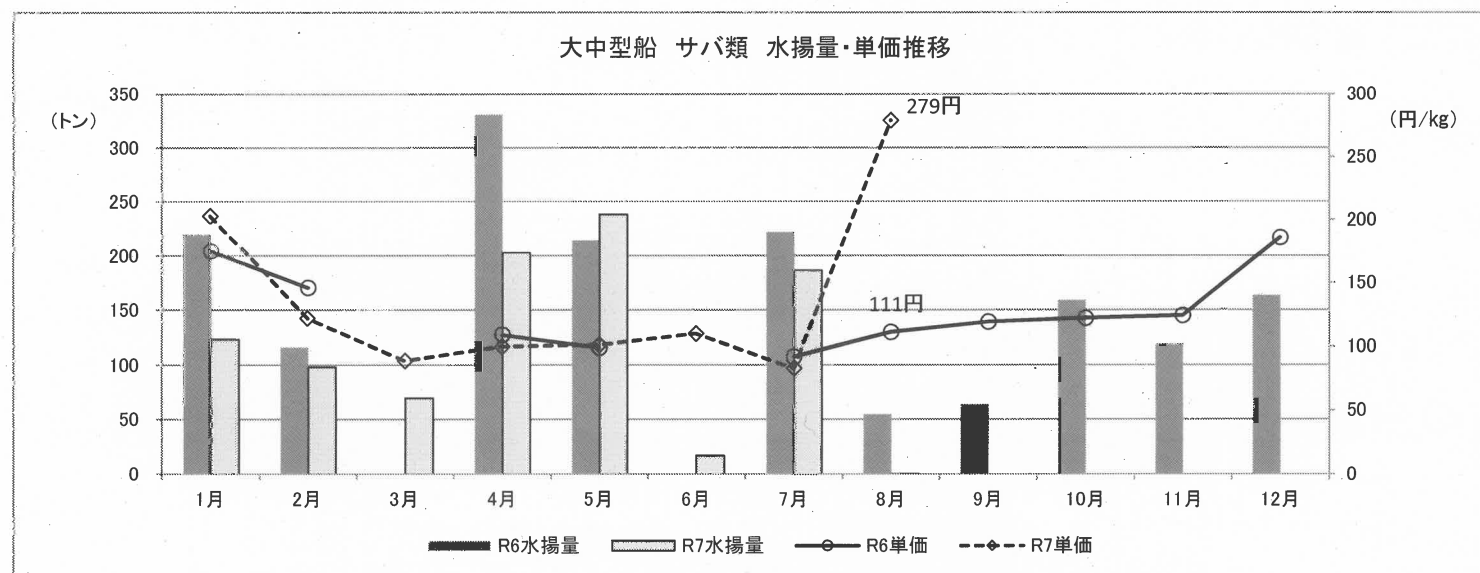
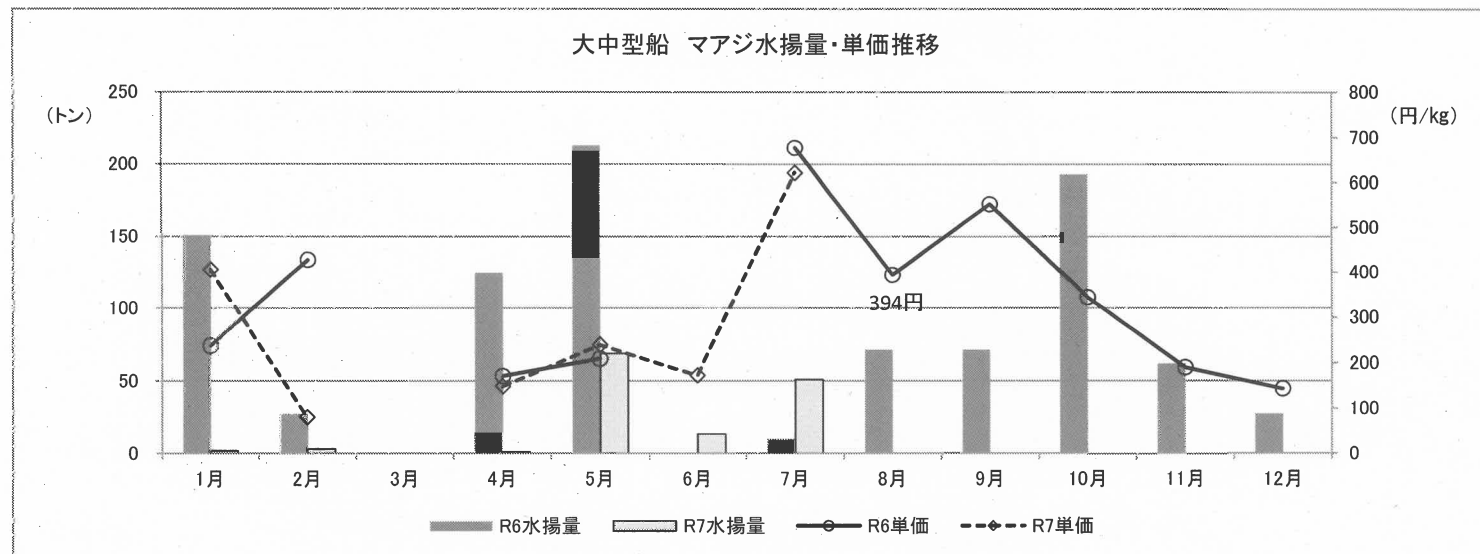


地元中型船 サバ類 水揚量・単価推移



大中型まき網漁業 主要魚種水揚量・単価の推移

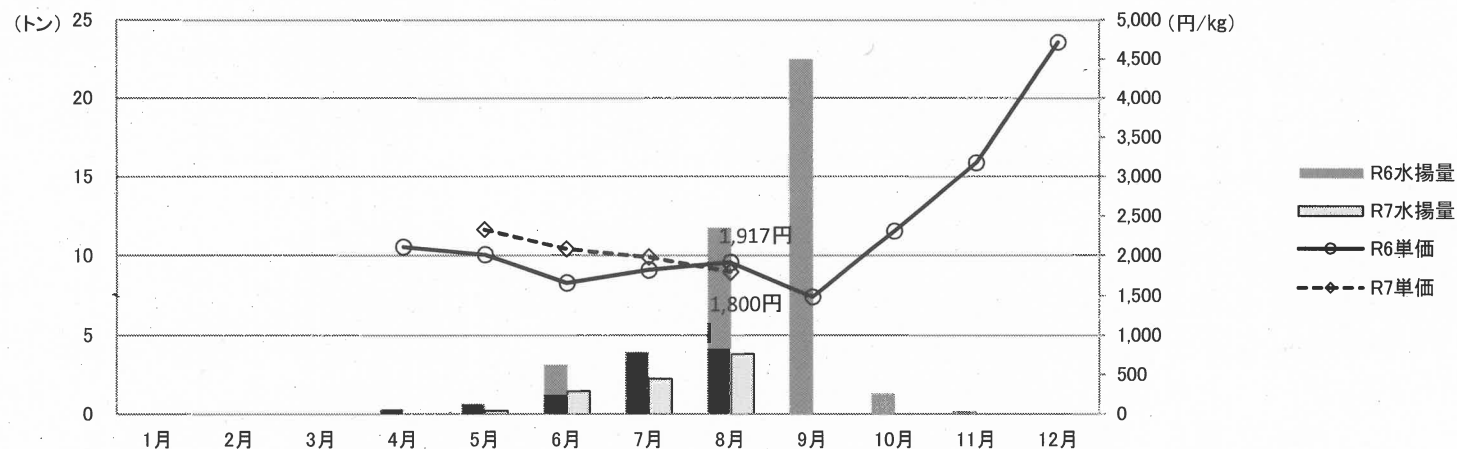
令和7年9月11日
産業建設委員会資料No.6
産業経済部水産振興課



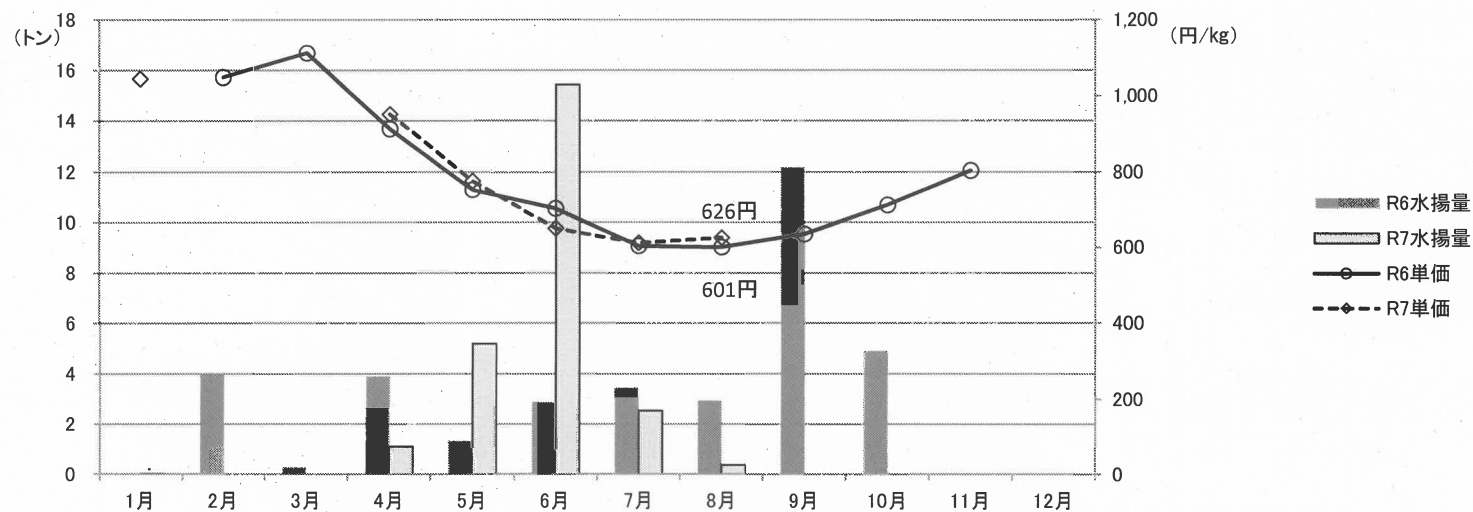
いか釣漁業（5t以上・5t未満） 主要魚種水揚量・単価の推移

令和7年9月11日
産業建設委員会資料No.7
産業経済部水産振興課

ケンサキイカ 水揚量・単価推移



スルメイカ 水揚量・単価推移



取組課題に対する委員の所管、今後のまとめ

1 道の駅ゆうひパーク浜田の問題について

これまでの 委員会の取組	・他県の「道の駅」先進地視察 ・道の駅ゆうひパーク浜田に係る所管事務調査 ・執行部報告事項による協議
川上委員長	これまで多様な面から委員会で審議してきた中で、浜田市が購入後、無償での現経営者は利益を計上していると伺っている。今後の指定管理においては、浜田市が購入した意義を損なうことなく進むことを期待して状況を注視していく。
田畑副委員長	利益還付金が年間100万円であるが少ないと思う。500万円が適当であると思う。検討の必要あり。商工会、浜田高校宿舍の金額、面積を考えればそれなりの金額が適当であると思う。
村木委員	令和8年度以降の計画が示され、次のことに疑義を感じた。 ①道の駅は「施設をドライバーたちのためだけのものではなく、その地域の文化や名所、特産物などを活用したサービスを提供し、道路利用者や地域の人々の情報交流や、地域連携と活力ある地域づくりを促進し、その地域の活性化を図りたいという双方のニーズが相まったことで誕生した」といったコンセプトが、この計画からは十分感じとれなかった。 ②「ゆうひパーク」の名所でありながら「夕日」を活かした内容が見受けられなかった。 ③インフォメーションは、①の道の駅としてとても大切な役割であり、現在も役割を果たしている中での移動は疑義を感じる。 ④期間が15年間の理由は。 ⑤空調や照明等の機器の更新は、どのようになっているのか確認したい。 ⑥防災の拠点としての機能・役割が計画の中から見えなかった。 ⑦「道の駅」第3ステージの取組の一環である「防災道の駅」としての認定も視野に入れてほしい。
大谷委員	成功している近隣における道の駅は、地元市民の利用者が多い。地元の農産品や魚等が安価で買えるような地産地消の物販の取組が見えていないと思う。無償貸付である以上、道の駅としての機能を十分に果たし、その上での適切な収益なのかは注視していく必要がある。
小川委員	向こう15年間の計画概要からは市への還元や地元産品・地産地消など地元への貢献度に疑問が残る。収益性が重視されている印象が強く、「市と市民にとって必要な施設」という意義が見えにくい。夕日の眺望や道の駅の機能が生かされていない印象を受ける。 市が取得した経緯、無償貸付に関する説明責任を果たすとともに、市民と価値を共有できる形で推移を注視する必要がある。
佐々木委員	財産貸付制度による運営に対し、各委員から提案に対する疑義も多く出され、今後の検討を待つこととなっている。無償貸付の事案として、できる限り市民に理解できるような内容とすべきと思う。
牛尾委員	一般質問でも取り上げたが、地域貢献や夕日の絶景を生かした取組が見えない。市民が家族で楽しめるような計画ではなく、企業利益追求重視に見える。地元貢献と雇用を最優先すべきである。
今後へ向けた 取組	・執行部とさらなる協議が必要

取組課題に対する委員の所管、今後のまとめ

2 地域小売店の問題について

これまでの 委員会の取組	・先進地視察 ・浜田商工会議所及び石央商工会との意見交換
川上委員長	これまでのヒアリングで感じたことは、支援等の仕組みはあるが有効に活用されていないことと、ボリューム感が不足している。加えて、伴走しての支援を強化する必要があるのではないかと見受けた。委員会としてこの問題に手を付けたことは大切で、今後も継続的に注視する機会を設けることが大切。
田畑副委員長	高齢化していく中で、買物難民を増やさないためにも、地域のよりどころとして必要である。
村木委員	企業者の減少や空き家・空き店舗の増加が課題となる中、先進地ではまず駅前開発の計画が示されており、新たな計画策定の重要性を感じている。浜田商工会議所の説明で検討委員会を立ち上げたとのことで大きな期待をしている。 また、石央商工会のエリアにおいても、きめ細やかな相談対応がされている中で、会員としてSNS活用研修会に参加したが、想像以上に多くの若手事業者が参加されており、地域経済の未来を担う彼らの存在を心強く感じた。 駅周辺開発計画の
大谷委員	浜田駅周辺で時間待ちできるようなカフェがない、若者が過ごせるような空間がない、大学等を卒業しても浜田に帰ってこようと思うお店ないなど、ニーズはあるが対応できていない。求められる店が期待される場所にできるような協議の場や融資等の支援策が必要と思う。
小川委員	活性化に向けた意気込みに不安を感じる。起業も少なく支援策や仕組みを充実しても利用者が限られる懸念がある。飲食店、喫茶店、大手書店等の閉店、撤退が続く中での大手ドラッグスーパーの出店には市民の落胆の声もある。ファストフードやファストファッションなど学生や若者のニーズがある一方で空き家・空き店舗・空き地が増え、駅前の岩多屋跡地は駐車場となっている。 選択と集中による商店街の魅力化・活性化に向けて、エリア分けやゾーニングによる商店街のランドデザインを策定するために、市と商工団体との協議の場を設ける仕組みが必要と思う。
佐々木委員	委員会として調査に行くまでにはなかったが、小売業のみならず、地域の寄り合いの場として必要性を感じる。
牛尾委員	浜田商工会議所の聞き取りでも各商店街への支援策は難しいとの見解である。今後は、力のある個店をつなぐ「飛び地商店街」のようなアイデアが必要。土曜夜市は、市民や親子連れに憩いの場を提供しているので継続すべきである。
今後へ向けた 取組	・駅周辺開発計画の支援

取組課題に対する委員の所管、今後のまとめ

3 ゼロゼロ融資の問題について

これまでの 委員会の取組	・ 浜田商工会議所及び石央商工会との意見交換
川上委員長	全国的には問題視されていたが、当市においては大きな問題として事業者の皆さんが感じておられないようで、これ以外の、事業継承に不安を持たれているようである。委員会としては、この事業継承について次期へ申し送る必要があるそう。
田畑副委員長	後継者の対策が不足している。事業継承が難しい対策を検討する必要性がある。
村木委員	後継者不足やコロナ禍からの回復が遅れていると感じた。リスケジュールや専門家への相談等が考えられる。関係機関と行政とで喫緊の課題と思う。
大谷委員	継続や継承できるような新たな対策は必要と考える。
小川委員	返済開始による経営悪化は目立たず、後継者不足など事業継続そのものの厳しさがあると感じられる。新たな融資制度の検討より、事業承継や後継者育成が課題と考える。
佐々木委員	融資の活用は元金の返済がかかってくるため、活用は慎重にならざるを得ないとの業者が多いと感じた。 この件は委員会として何かできるものではないと思う。
牛尾委員	市内では問題発生事案を聞いていない。むしろ、事業承継問題が緊急事案である。中心市街地も空き店舗が空き地になりつつある。コンパクトシティ構想の策定が必要である。
今後へ向けた 取組	・ 具体的な支援策を検討 ・ 調査研究の継続

取組課題に対する委員の所管、今後のまとめ

4 小規模農家への支援について

これまでの 委員会の取組	・農林振興課との意見交換 06.12.17 ・小規模農家(30a～100a)へのヒアリング 牛尾委員：浜田、金城、村木委員：三隅 ・国会議員との意見交換 ・牛尾議員 一般質問
川上委員長	行政、農家へのヒアリングより、農家への支援が必要であることは明確であったが、対象者及び程度についてより深く調査する必要があると感じた。行政の事業運用について注視するとともに、委員会としての問題感を持ち続ける必要がある。
田畑副委員長	小規模農家には支援は必要だと思うが、支援を当たり前と思っている農家もあるように思う。
村木委員	令和7年度予算における小規模農家機械整備支援事業補助金は、その制度自体は評価できるものの、高価な農機具に対して補助率や上限が低く、十分な支援とは言い難いと感じた。また、地域井戸端会であったJAによるリース等の意見も、機器の故障リスクや利用機会の重複を考えると、現実的な解決策とはなりにくいようである。 今後の方向性に関する見解としては、農林振興課との意見交換では、行政が「小規模」という概念にとらわれず、兼業農家がより多くの農地を耕作する意欲を支援しようと考えていると伺い、兼業農家の一人として考えを改めた。昨今の米をめぐる状況から、国の米政策やJAの対応を注視する必要があると考える。 そして、令和7年度から本格的に兼業農家となったため、今後は「地域計画（農地利用構想マップ作成事業）」や「スマート農業」といった分野の研究を深めていきたい。 併せて、新規兼業農家の就農者支援の制度化も研究したい。 また、集落営農組織における機器の更新にも手厚い支援が必要ではないかと考えている。
大谷委員	営農を継続することが可能になると共にオーガニックに絡めた小規模農家への支援策をつくり地産地消を推進させる。
小川委員	農業への支援策が農業法人等大規模農家に偏りがあるように思うが、令和7年の予算決算委員会では若干の改善が図られたことで評価する声もある。もうかる農業は重要な観点ではあるが、食料自給率の引上げや食料安全保障の観点から水稻を含めた小規模農家に役割を再評価し、分析と支援策を検討すべきである。
佐々木委員	委員会としての要望や一般質問などから、小規模農家への支援が実現でき、今後さらに拡充に向けた検討が必要と考える。
牛尾委員	一般質問でも取り上げたが、令和7年度の新規事業の柔軟な対応の要望がある。天候不順や高温障害に対し、水稻では、乾田直播や再生二期作の取組が課題で、積極的に取り組むべきである。
今後へ向けた 取組	・小規模農家機械整備支援事業補助金の実態調査とヒアリング ・集落営農組織へのヒアリング ・兼業農家(新規兼業農家)の支援(就農)策を目的とした視察 ・農地利用構想マップ作成事業の進捗と今後の活用協議 ・中山間地域の活性化のための共通事業の令和8年度以降の制度協議 ・行政、農協との意見交換

取組課題に対する委員の所管、今後のまとめ

5 建設業の問題点と課題について

これまでの 委員会の取組	・各建設業協会との意見交換 ・危険箇所の現地調査 ・委員会代表質問
川上委員長	業界代表者との意見交換会で明確になった事業不足は重大である。不足による業者及び従業員の激減は、老朽化している市のインフラ整備、冬季の雪寒除雪に大きな影響を及ぼし、市民生活への影響は計り知れないものとする。委員会として、工事必要箇所の現地確認等を行ったが予算措置への効果は少なかったと感じている。今後も建設業者の動向を確認するとともに、当市のインフラ整備に対して注視する必要がある。
田畑副委員長	投資的経費を必要とする計画がないため予算計上できない部分があると思う。
村木委員	災害時においても、その復旧には、建設業の方々のお力が必要である。特に、道路啓開は、人命救助、物資輸送等においても大変重要な事項。そのためにも人材育成、機械整備が必要であり、単独事業としてでも予算が必要と考える。また、平時においても、道路の支障木除去や道刈り等の環境整備においては、地域での対応は限界があるとする。倒木においても災害のライフラインを脅かすこととなるので、予防保全として予防伐採も検討すべきではないかと考える。[一般質問で要望] さらに、河川の浚渫においても、防災や自然環境から計画的、継続的、短期間において実施していただきたい。[一般質問で要望]
大谷委員	土木事業は県からの発注割合が8割で市からが2割で、建築事業は逆で県は2割で市が8割と聞く。土木と建築を切り分け対応する必要があると感じる。土木については県は人口比率で予算配分をする傾向とのことで、面積比率で対応すべきである。幅員が1車線分の県道もあり、市議会（委員会）として県の考え方を聞く場を持つてみてはと感じた。今回、委員会で取り組んだ危険箇所や修繕箇所の改修については今後とも取り組む必要がある。市街地の建築が促進されるような市道の拡幅等の取組も重要と思う。
小川委員	市の公共事業が減少傾向にある中、建設業の維持・存続と技術継承が困難な現状が訴えられた。委員会と担当課で道路等の危険箇所の実態調査を実施し、田畑副委員長が一般質問で問題提起を行ったが、建設業の持続性を確保する施策が必要と考える。
佐々木委員	各地域の代表の方々との懇談を行ったが、仕事を提供するような支援はできない。市に協会から出されている要望など、支援できるものがあれば委員会としても支援していくべきと考える。
牛尾委員	業界団体との意見交換では、事業が少なくやっていけないとのことである。全国各地で災害が発生しており、業者が減れば、いざというときに対応が難しくなる。将来負担比率が下がっている現在、「建設業支援10年計画」を策定し社会インフラ整備を前倒しで実施すべきである。
今後へ向けた 取組	・委員会代表質問 ・市議会（委員会）として県の考え方を聞く場を持つ ・危険箇所や修繕箇所の改修